

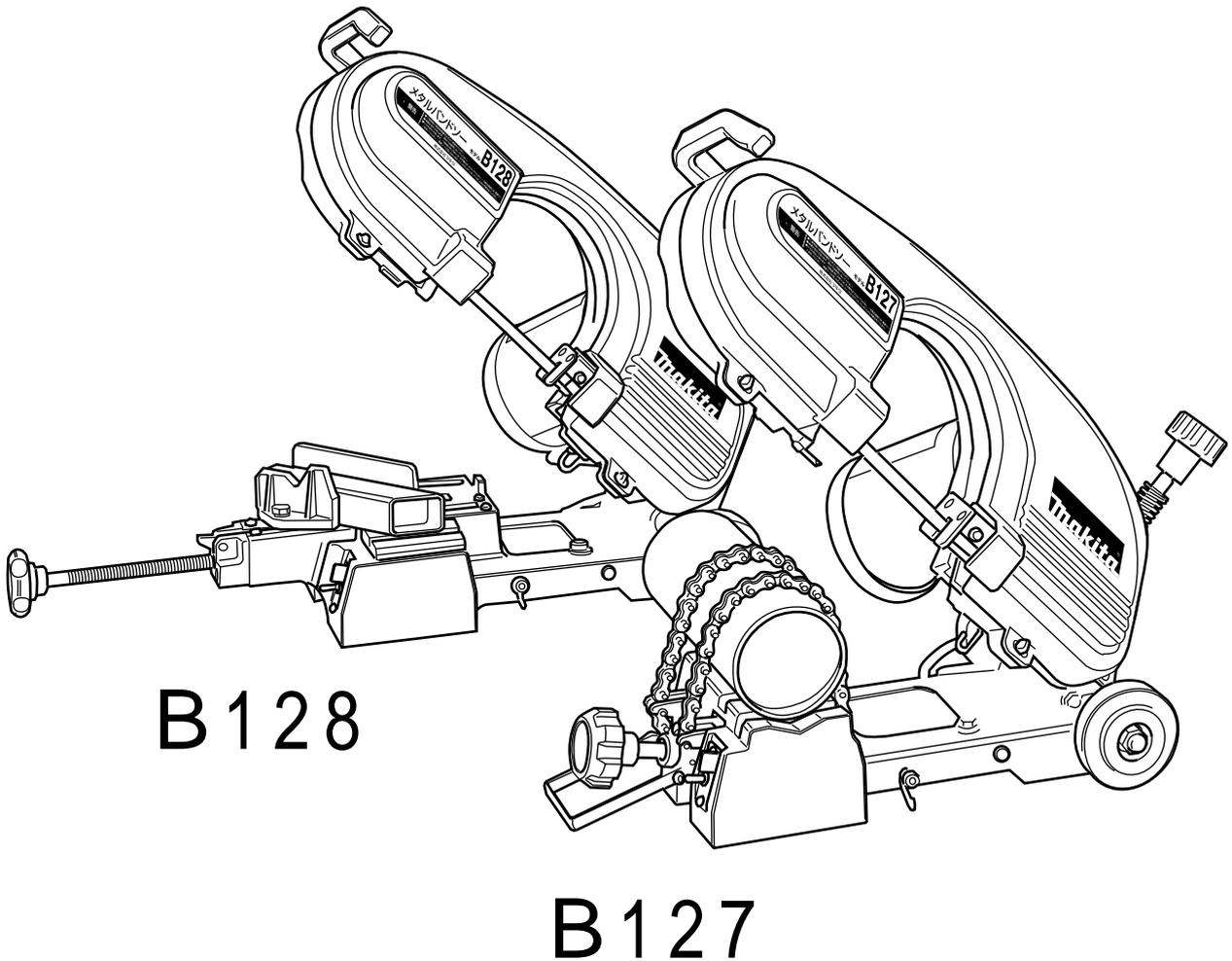


メタルバンドソー

モデル B127(チェーンバイス)

モデル B128(平バイス)

取扱説明書



[ご使用前には必ず本取扱説明書をお読みください。]

安全にご使用いただくために

このたびは、メタルバンドソー B127・B128 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡してください。

ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。

適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本機を使用用途以外の目的で使わないでください。

商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。

- ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
- ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
- ・付属品等に不足はないか。

万が一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、3つのレベルに分類されます。



危険

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



警告

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



注意

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号



感電



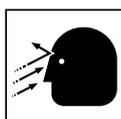
刃物



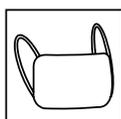
巻込まれ



はさまれ



飛散



マスク



爆発



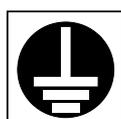
火災



やけど



転倒



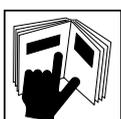
アース



回転物



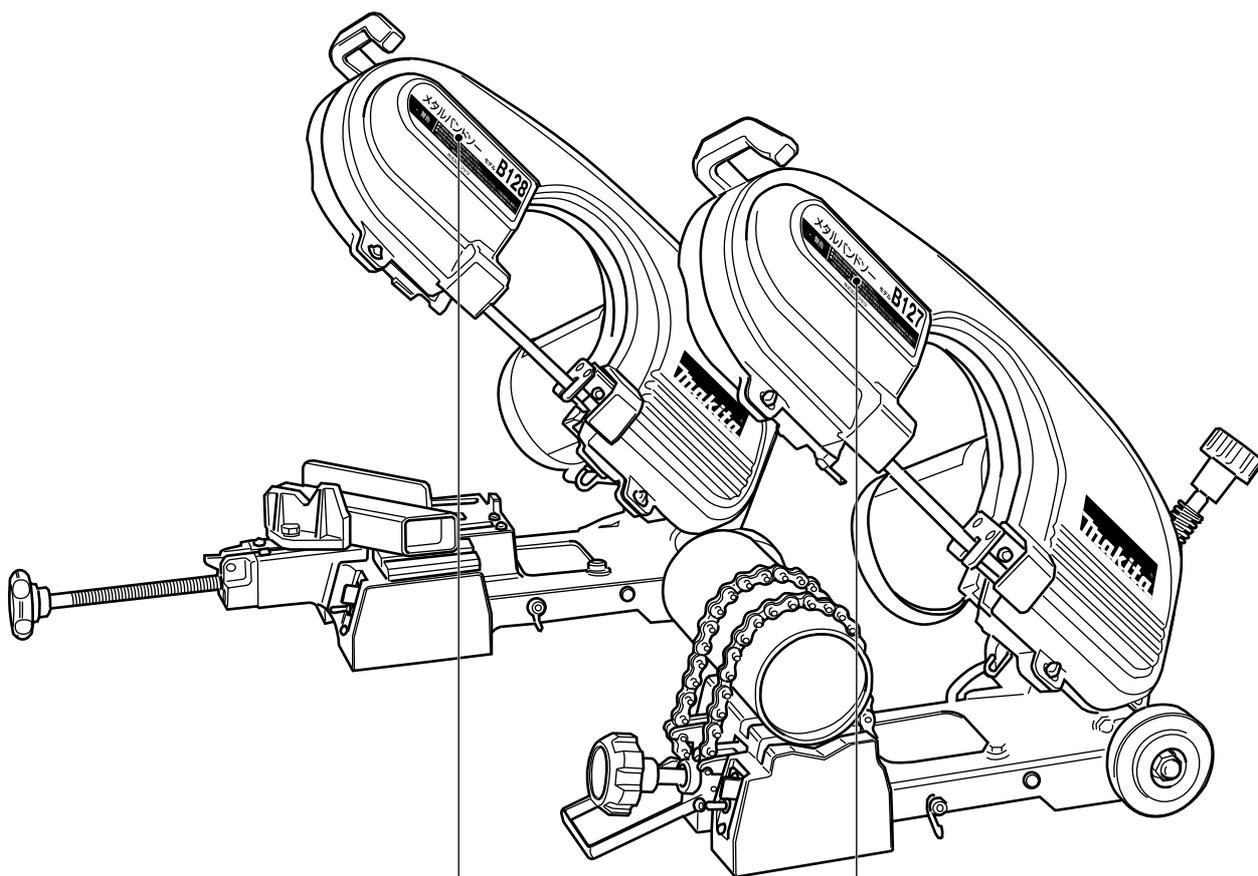
その他



取扱
説明書

警告シール

本機には次の1つの警告シールが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますのできれいに保ち、はがれたり、見づらくなった場合は、弊社へ請求してください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。



メタルバンドソー モデル **B128**

警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 騒音の恐れがあります。雨中使用しないでください。
- ケガの恐れがあります。・取扱説明書には、手や顔を近づけないでください。・刃渡交換時には、電源コードを抜いてください。・電源コードを差し込むときは、スイッチがOFFになっていることを必ず確かめてください。

株式会社 マキタ

メタルバンドソー モデル **B127**

警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 騒音の恐れがあります。雨中使用しないでください。
- ケガの恐れがあります。・取扱説明書には、手や顔を近づけないでください。・刃渡交換時には、電源コードを抜いてください。・電源コードを差し込むときは、スイッチがOFFになっていることを必ず確かめてください。

株式会社 マキタ

ご使用上注意

危険



感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。

濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。

雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。

電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。



電源コードを持って電源から引き抜いたり、コードの上に本機を置いたりしてコードを損傷させないでください。

延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

警告



発熱、発煙、発火の原因となるので、電源電圧は100Vでご使用ください。切断時に押し込む等の過負荷でモータが停止するような無理な使い方はしないでください。

電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。

本機が発熱や発煙した場合は、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。



アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。



本機はスイッチを切っても、惰性で刃が回転します。動いているノコ刃や回転部に触れないでください。

切断面は鋭利になっています。直接手で触れないでください。

ノコ刃や回転部に触れる場合は、本機のスイッチをOFFにし電源プラグを抜いてください。

 **警告**



電源プラグを電源に差し込むときは、スイッチが OFF になっていることを確認してください。スイッチが ON の状態で電源に差し込むと、本機が急に動き事故の原因になります。



使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。回転部に巻き込まれ、ケガをします。

切断作業時等の作業は手袋を使用しないでください。巻き込まれてケガをします。

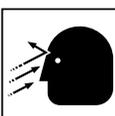
ノコ刃は作業中に回転します。ネクタイ、ネックレスや袖口の開いた服装は巻き込まれてケガをします。着用しないでください。

長い髪は回転部に巻き込まれてケガをします。帽子やヘアカバー等で覆ってください。

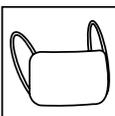
本機を使用しない場合や、停電、保守、点検の場合はスイッチを OFF にして電源プラグを抜いてください。本機が急に動き事故の原因になります。

ノコ刃を回転させたまま放置しないでください。他の人が巻き込まれて事故の原因になります。

長い材料を切断する場合には、パイプ受け台を使用してください。材料の重みで本機が浮き上がる等により不安定になるばかりでなく、切断精度の悪化や機械の故障・事故の原因になります。



切粉が目に入る恐れがあります。切断中は保護メガネをご使用ください。切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。



粉じんが口や鼻に入る恐れがあります。粉じんの多い加工では、防じんマスクをご使用ください。



切断直後の断片は高温になっています。直接手で触れないでください。



重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。

切粉が付着した状態での運搬は滑りやすいので、持ち上げるとき及び運搬中に足の上に落とさないでください。

本機が転倒しケガをします。傾斜していたり、不安定な場所には設置しないでください。

警告



転倒してケガをしますので無理な姿勢で作業をせず、足元をしっかりとらせてください。

疲労、飲酒、薬物等の影響で作業に集中できないときは使用しないでください。

スイッチを ON にする前に、点検や調整に使った工具を本機から取り除いてください。

指定の付属品やアタッチメント以外は使用しないでください。

運転中本機の異常（異臭、振動や異常音等）に気付いたときはただちに停止し、本書の「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。

修理はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

本機は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

注意



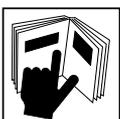
電源コードの上に本機や材料を置かないでください。コードを破損させ、漏電の原因になります。



フレームを下へ降ろすときに手をはさまないように、手の位置に注意してください。



長尺の材料をセットしたまま本機から離れないでください。材料でつまずきケガをします。



付属品の取り付けが不十分だと外れたり落ちたりし、ケガや事故の原因になります。本書にしたがって、確実に取り付けてください。



モータが過負荷で停止した場合は、必ずスイッチを OFF にしてください。スイッチが ON の状態で過負荷保護装置復帰ボタンを押すと、ノコ刃が回転し、事故やケガの原因になります。

使用前に本機に損傷がないか点検し、正常に作動するか確認してください。

長時間本機から離れるときは、電源プラグを抜いてください。

本機を落としたりぶつけた場合は、破損、亀裂、変形等がないか点検してご使用ください。異常があるまま、切断をしても精度がでない他、ケガや事故の原因になります。

注意



作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいにし十分な明るさを保ってください。

本機に担当者以外を近づけたり、操作したりしないよう管理してください。
本機を使用しないときの保管は、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所にしてください。

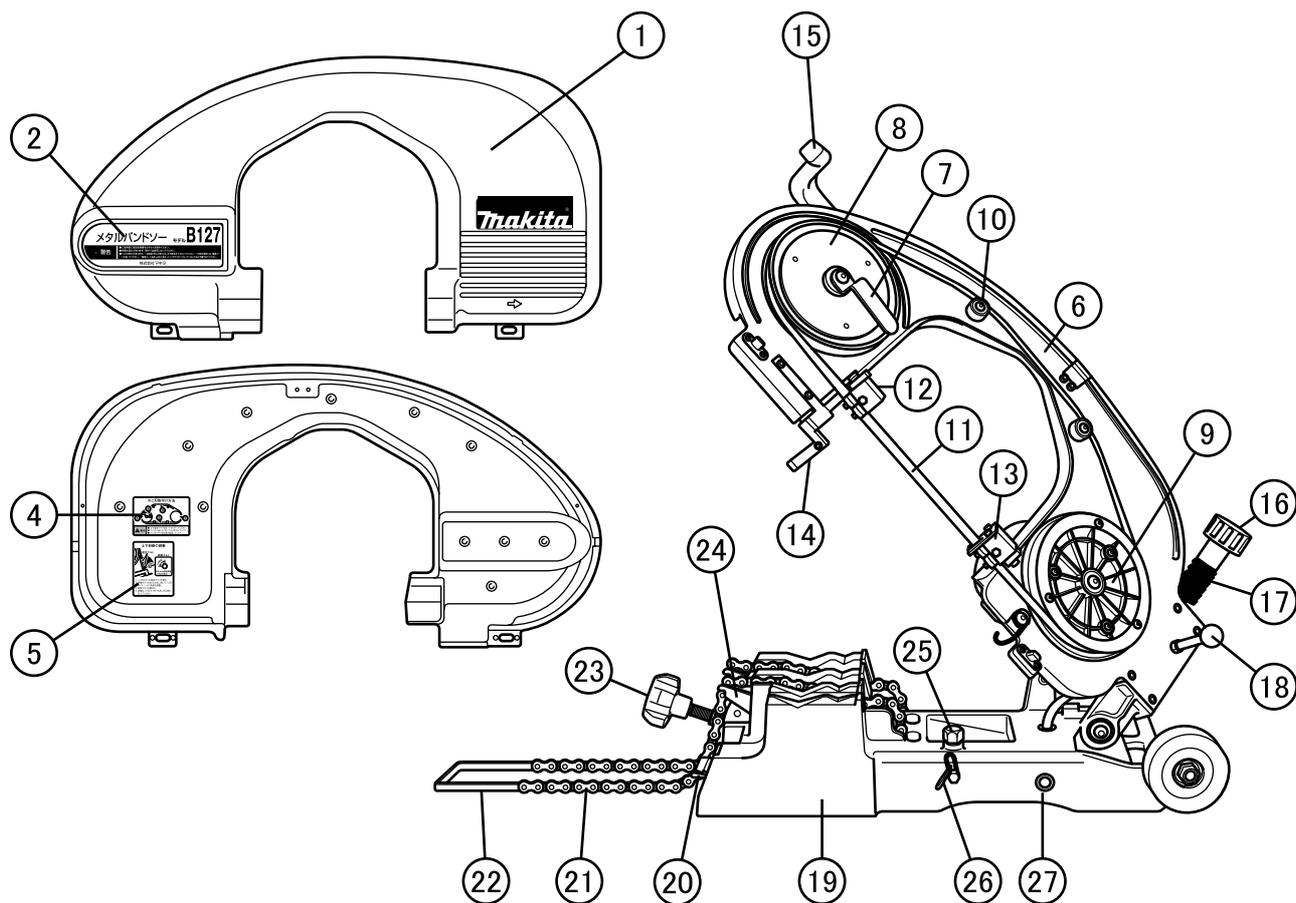
目 次

1 . 製品構成	
1) 各部の名称.....	8
2) 仕様.....	1 0
3) 別販売品.....	1 0
3 - 1) 被切断材とノコ刃及び切断精度選定表.....	1 1
2 . 据え付け	
1) 運搬.....	1 2
2) 据え付け.....	1 2
3 . 操作	
1) 運転前の準備.....	1 4
2) 材料を取り付ける (チェーンバイス式)	1 6
3) 切断作業.....	1 6
4) 材料を外す.....	1 6
2) 材料を取り付ける (平バイス式)	1 7
3) 切断作業.....	1 7
4) 材料を外す.....	1 7
5) 使用後の清掃.....	1 8
6) 保管.....	1 8
4 . 保守・点検	
1) 各部の交換	
1 - 1) ノコ刃の交換.....	1 8
1 - 2) プーリゴムの交換.....	1 9
2) 斜断修正方法.....	2 0
3) 日常の点検と手入れ.....	2 2
5 . 修理・サービスに依頼される前に.....	2 3
6 . 配線図.....	2 5

1. 製品構成

1) 各部の名称

モデル B127 (チェーンバイス式)



1. 前面カバー

2. ネームシール

4. ノコ刃交換シール

5. 斜断調整シール

6. フレーム

7. テンションハンドル

8. 従動プーリ

9. 駆動プーリ

10. ベアリング

11. ノコ刃

12. ノコ刃ガイドF

13. ノコ刃ガイドR

14. ドッグ

15. 把手

16. 切断精度調整ノブ

17. 切断精度調整スプリング

18. コード掛け

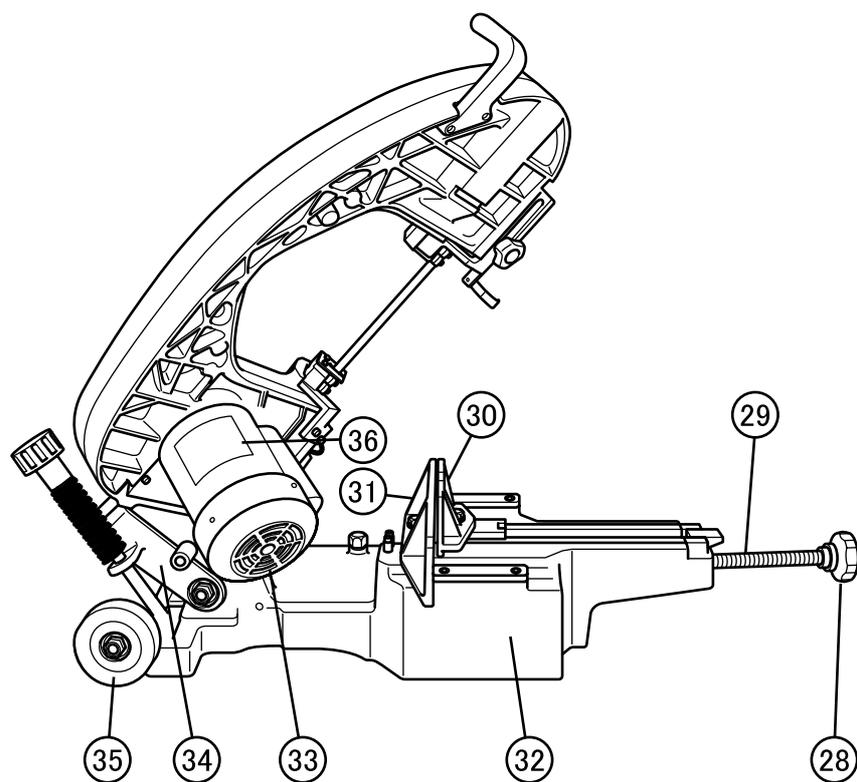
19. チェーンバイス本体

20. スイッチ

21. チェーン

モデル B128

(平バイス式)



-
- | | | |
|------------------|------------|---------------|
| 22. チェーン把手 | 29. 送りねじ | 36. 切断精度調整選定表 |
| 23. クランプノブ | 30. 口金F | |
| 24. クランパー | 31. 口金R | |
| 25. ストップボルト | 32. 平バイス本体 | |
| 26. フック用チェーン | 33. モーター | |
| 27. 過負荷保護装置復帰ボタン | 34. 軸受 | |
| 28. ハンドル | 35. キャスター | |
-

2) 仕様

項目		メタルバンドソー B127	メタルバンドソー B128
切断能力	丸	130mm	120mm
	角	100mm	100mm
	角度切	-	50mm
			50mm
ノコ刃周速		0.72/0.90m/s・(50/60Hz)	
モータ		コンデンサ始動型モータ 100V(50/60Hz) 200W(定格出力)	
消費電力		350W	
機械寸法(L×W×H)		740×390×330mm	
質量		31kg	33kg
標準付属品		ノコ刃1本(14山/吋) 両口スパナ(10×11) 六角棒レンチ(5)	ノコ刃1本(14山/吋) 両口スパナ(10×11) 六角棒レンチ(5) T型ソケットレンチ(17)

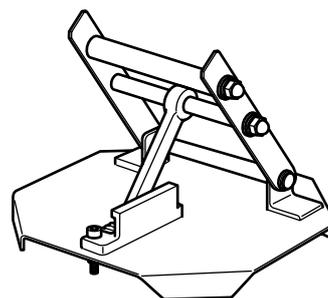
仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

3) 別販売品

部品番号	品名	単位	摘要
AS70078	ブレード8山	10本	鋼材肉厚10mm以上
AS88916	ブレード10山	10本	鋼材肉厚5mm以上
AS88887	ブレード14山	10本	ガス管15A以上、鋼材肉厚3.6mm以上
AS70077	ブレード18山	10本	ガス管15A以上、鋼材肉厚2mm以上
AS88888	ブレード24山	10本	鋼材肉厚1.9mm以下、電線管薄鋼
AS70132	ブレード8山ハイス	5本	鋼材肉厚10mm以上、ステンレス管肉厚6.5mm以上
AS70075	ブレード10山ハイス	5本	鋼材肉厚5mm以上、ステンレス管肉厚6.5mm以上
AS88915	ブレード14山ハイス	5本	ガス管15A以上、ステンレス管肉厚4mm以上
AS70603	ブレード18山ハイス	5本	ステンレス管肉厚4mm以下、電線管薄鋼
AS70413	ブレード24山ハイス	5本	ステンレス管肉厚2mm以下、電線管薄鋼
AS70560	ブレード32山ハイス	5本	ステンレス管肉厚1.2mm以下
AS70141	グリットソーブレード	5本	耐火二層管等

パイプ受台 部品番号 ASBS620

長尺物の切断には、パイプ受台をお使いください。



3 - 1) 被切断材とノコ刃及び切断精度選定表

： 4 (重荷重) : 3 (中荷重) : 2 (軽荷重) : 1 (超軽荷重)

		ハイス										グリットソー	
		8山	10山	14山	18山	24山	8山	10山	14山	18山	24山		32山
		No.AS70078	No.AS88916	No.AS88887	No.AS70077	No.AS88888	No.AS70132	No.AS70075	No.AS88915	No.AS70603	No.AS70413		No.AS70560
ガス管	32A 以下												
	40A ~ 65A												
	80A ~ 100A												
電線管	薄 鋼												
	厚 鋼												
鋼 材 (丸棒・型鋼) (肉厚・mm)	1.9 以下												
	2.0 ~ 3.5												
	3.6 ~ 4.9												
	5.0 ~ 9.9												
	10 以上												
ステンレス管 (肉厚・mm)	1.2 以下												
	1.3 ~ 2.0												
	2.1 ~ 3.9												
	4.0 ~ 6.4												
	6.5 ~ 13.5												
	13.6 ~ 18.2												
樹脂管													
排水用鋳鉄管 (給水用管は除く)													
耐火二層管													

注： 1) ノコ刃の選定は、被切断材の肉厚内に 2 山 (2 P) 以上ある事を基準に山数を選んでください。
 2) 上記表は目安ですので、被切断材の形状に応じてノコ刃及び切断精度調整位置を選定してください。



警告



グリットソー使用時には、防塵マスクを着用してください。

2 . 据え付け

1) 運搬



警告



重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。

切粉が付着した状態での運搬は滑りやすいので、持ち上げるとき及び運搬中に足の上に落とさないでください。

2) 据え付け



危険



感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。

濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。

雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。



延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。



警告



アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。

湿気のないところに置いてください。

平坦でガタ付きのないところ、または平坦な作業台の上に置いてください。

本機周りには十分なスペースを確保してください。特に長い材料を加工する場合には注意してください。

長い材料を加工する場合にはパイプ受け台を使用し、本機が浮き上がる等の無理な力が掛からないようにしてください。

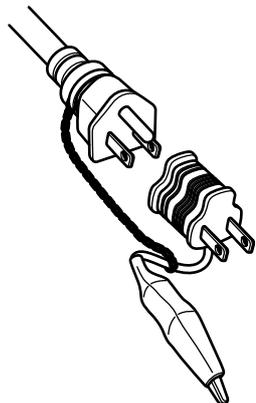
電源には感電防止用漏電しゃ断器が設置されていることを確認してください。(1)

延長コードを使用する場合は、規格に適合したものをご使用ください。(2)

1 : アース（接地） 漏電しゃ断器の確認

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 ミリアンペア（mA）以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアース（接地）されるようおすすめします。



接地用差し込み口のない電源コンセントで使用される場合は左図のアースクリップをお使いになると便利です。アースクリップ、アース（接地）線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。地中にアース極（アース板、アース棒）を埋め、アース線（接地）を接続するなどの接地工事は、電機工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

漏電しゃ断器やアース（接地）については次の法規があります。

労働安全衛生規則（第 3 3 3 条 漏電による感電の防止、第 3 3 4 条 適用除外）

電気設備の技術基準（第 1 8 条 設備工事の種類、第 2 8 条 機械器具の鉄台および外箱の接地、第 4 1 条 地絡しゃ断装置等の施設）

2 : 延長コードを使用する場合

電源の位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品の最高の能率で故障なくご使用いただくために、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

芯線断面積	最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	15m
3.5mm ²	30m

左の表はコードの太さ（芯線断面積）によって、本機に使用できるコードの最大長さを示します。これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。延長コードは必ずアース（接地）できるアース（接地）用の 1 芯を持つ 3 芯キャブタイヤケーブルをお使いください。

3) 作業環境の整備・確認

作業する場所が『ご使用上注意』の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じて、遮音壁を設けて作業してください。

3 . 操作

- はじめに、切断作業を大まかに示します。
- 運転前の準備をします。
- 材料を本機に取り付けます。
- 切断します。
- 切断済み材料を取り外します。

次に、この内容を手順を追って詳細に説明します。

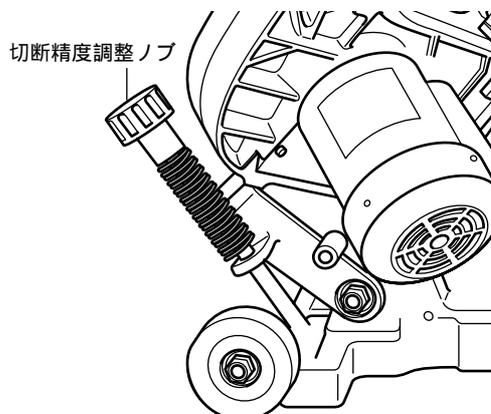
1) 運転前の準備

! 注意



被切断材に合った山数のノコ刃を選定してください。
 選定については、機械に付いている選定表、または取扱説明書の選定表を参考にしてください。
 被切断材に合った切断精度調整位置で作業してください。
 指定以外のノコ刃山数、切断精度調整位置で切断しますと、切断能力が低下するばかりでなく、ノコ刃破損の原因となります。
 被切断材にノコ刃を乗せた状態でスイッチを入れないでください。
 機械の故障の原因となります。
 切断の際は、ノコ刃が十分に回転してから、ゆっくりと被切断材にノコ刃を降ろしてください。
 急に降ろしたり、強く押し込むと機械の故障の原因になります。

バイス上面の砂・土・切粉・ほこり等を取り除いてください。
 (新品の場合はバイス上面に防錆油が塗ってありますので、きれいな布で拭き取ってください。)
 フレームを起した状態で、切断精度選定表に表示してある被切断材に合った位置に切断精度調整ノブをセットしてください。(切断精度調整ノブは押し下げて動かしピンを溝位置にセットしてください。)
 《図1,2》



《図1》

樹脂管	14山	薄肉管	24山
~1 1/4"	14山	1.9mm以下	24山
1 1/2"~2 1/2"	14山	2~4.9mm	14山
3"~4"	14山	5mm以上	14山
ガス管		鋼材(肉厚)	

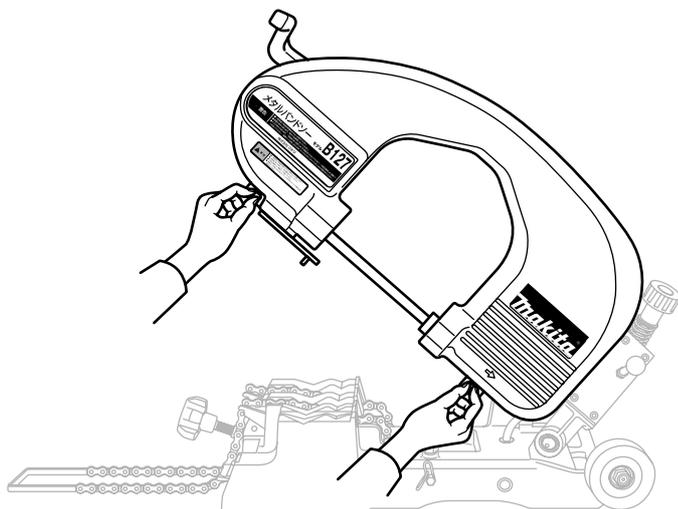
《図2》

警告

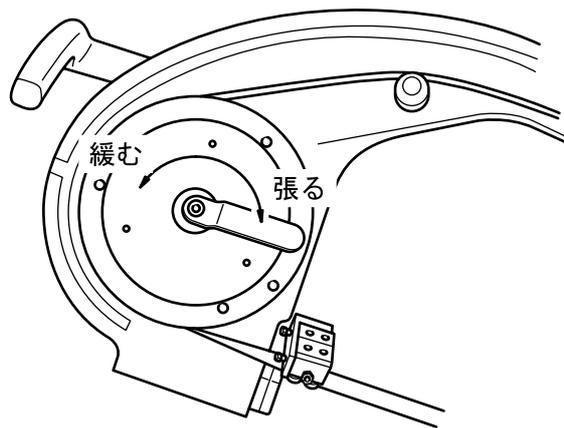


前面カバーを開く時には、ノコ刃の飛び出しに注意してください。
ノコ刃を正しく機械にセットしたら必ず前面カバーを閉じてください。
ノコ刃が切れたり、外れた時に事故やケガの原因になります。
調整作業の時は、必ず電源コードを抜いてください。
不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります

前面カバーの止め具を外し、カバーを取り外してテンションハンドルを右（時計方向）の位置にセットしてください。ノコ刃が張ります。《図3,4》
ノコ刃を手で回して、回ることを確認してください。
前面カバーを取り付けて、止め具で固定してください。
スイッチがOFFになっている事を確認してから、電源コードを差し込んでください。



《図3》



《図4》

注意

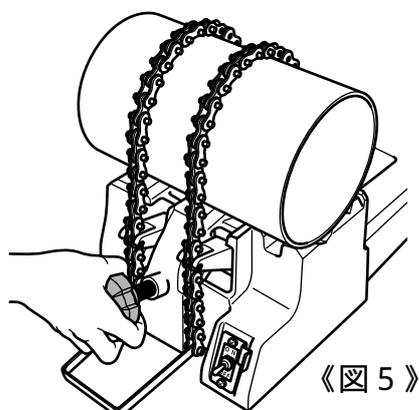


前面カバーが正しくセットされている事を確認した後、止め具で固定してください。
正しくセットされていない状態で切断作業をすると、止め具が破損して事故やケガの原因になります。
長尺物の切断にはパイプ受台を使用してください。
長尺物の切断作業をするときは、被切断材の重みで機械が不安定にならないようにパイプ受台を使用してください。
パイプ受台がないと、切断精度が悪かったり、機械の故障や事故、ケガの原因になります。



ノコ刃は鋭利ですから、素手で触らないでください。

2) 材料を取り付ける (チェーンバイス式)



被切断材をバイスV溝に接する様に置きます。チェーン把手を持ち、被切断材にチェーンを掛けクランパーでチェーンのピンをつかみ、クランプノブを回して被切断材を締め付けます。《図5》
被切断材はガタツキのないように、しっかりと締めつけてください。

3) 切断作業

ストッパーを解除させるため、把手を持ってフレームを一旦持ち上げてスイッチを入れます。ノコ刃の回転が安定していることを確認し、フレームを緩やかに降下させて、被切断材にノコ刃を置きます。

⚠ 注意



被切断材には、ノコ刃をゆっくりと近づけてください。
急に落としたり強く押しこむと機械の故障や事故、ケガの原因になります。
新品のノコ刃の場合、斜断が出やすいため、ならし切断が必要です。
切断精度調整『1』の位置で被切断材を1～2回切断してください。

切断終了時には、自動的にスイッチが切れます。

4) 材料を外す

切断終了後、被切断材を取り外します。

⚠ 注意



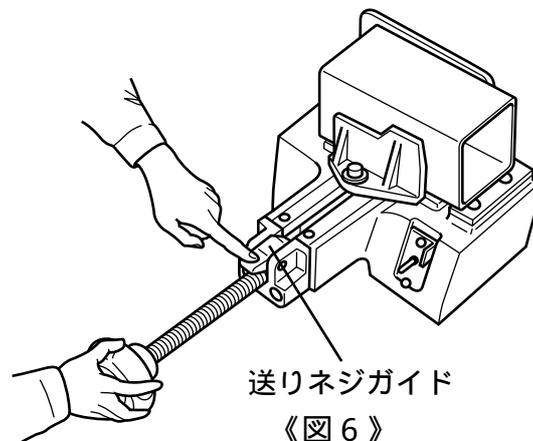
切断直後の断片は高温になっています。直接手で触れないでください。
必ず、時間を置くかウエス等でお持ちください。やけどをする恐れがあります。

2) 材料を取り付ける (平バイス式)

被切断材をバイス面に安定した状態で乗せます。

- ・ 早送り機構の為、送りねじガイドを指で押さえながらクランプハンドルを押して被切断材に近づけます。《図6》
- ・ 送りねじガイドの指を離し、ハンドルを回し締め付けます。

角度切りの場合は、口金(R)のボルト2本を緩め、切断したい角度の目盛りに合わせてボルトを締め付けてください。



3) 切断作業

ストッパーを解除させるため、把手を持ってフレームを一旦持ち上げてスイッチを入れます。ノコ刃の回転が安定していることを確認し、フレームを緩やかに降下させて、被切断材にノコ刃を置きます。

角度切りの時には、被切断材にノコ刃が少し食い込むまで、フレーム把手を手でささえてください。

注意



被切断材には、ノコ刃をゆっくりと近づけてください。
急に落としたり強く押しこむと機械の故障や事故、ケガの原因になります。
新品のノコ刃の場合、斜断が出やすいため、ならし切断が必要です。
切断精度調整『1』の位置で被切断材を1～2回切断してください。

切断終了時には、自動的にスイッチが切れます。

4) 材料を外す

切断終了後、被切断材を取り外します。

クランプハンドルを緩めてから口金Fを被切断材から離すと素早く緩める事ができます。

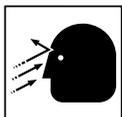
注意



切断直後の断片は高温になっています。直接手で触れないでください。
必ず、時間を置くかウエス等でお持ちください。 やけどをする恐れがあります。

5) 使用後の清掃

警告



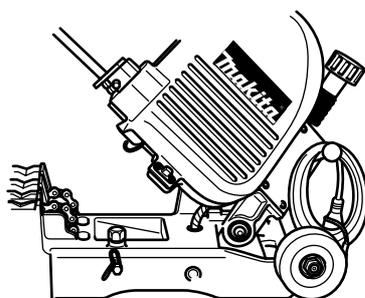
切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。



切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。必ず手袋をはめて作業してください。

本機上や周りに散乱している切粉を取り除きます。

6) 保管



《図7》

電源コードを適当なリング状にしてコード掛けに掛けて保管してください。《図7》

前面カバーの止め具を外し、カバーを取り外してテンションハンドルを左（反時計方向）の位置にセットした状態で保管してください。《図4》

切断精度調整ノブを『4』荷重に合わせた状態で保管してください。《図1》

4. 保守・点検

1) 各部の交換

1 - 1) ノコ刃の交換

警告



ノコ刃の交換時は、必ず電源コードを抜いてください。

不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります。

前面カバーを開く時には、ノコ刃の飛び出しに注意してください。

ノコ刃を正しく機械にセットしたら必ず前面カバーを閉じてください。

ノコ刃が切れたり、外れた時に事故やケガの原因になります。

注意



ノコ刃に付着している油や汚れを完全に拭き取ってから取り付けてください。
ノコ刃が切れたり外れた時に事故やケガの原因になります。

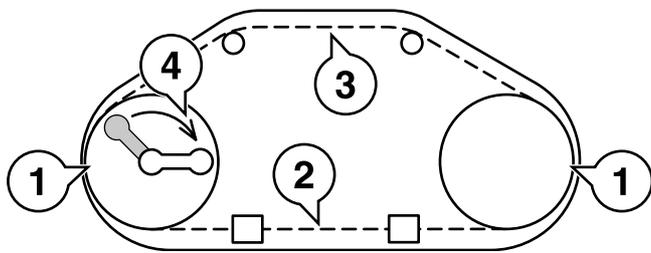
前面カバーが正しくセットされている事を確認した後、止め具で固定してください。

正しくセットされていない状態で切断作業をすると、止め具が破損して事故やケガの原因になります。
新品のノコ刃の場合、斜断が出やすいため、ならし切断が必要です。



切断精度調整『1』の位置で被切断材を1～2回切断してください。

ノコ刃は鋭利ですから、素手で触らないでください。



《図8》

前面カバーの止め具を外し、前面カバーを取り外してください。《図3》

テンションハンドルを左（反時計方向）へ回してください。ノコ刃が緩みます。《図4》

ノコ刃を《図8》の逆順で取外してください。

新品のノコ刃を《図8》の順番で取り付けてください。
テンションハンドルを右（時計方向）へ回してください。

ノコ刃が張ります。《図4》

ノコ刃を手で回して、回ることを確認してください。

前面カバーを取り付けて、止め具で固定してください。

1 - 2) プーリゴムの交換

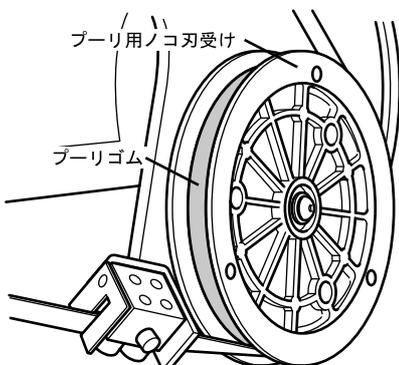
警告



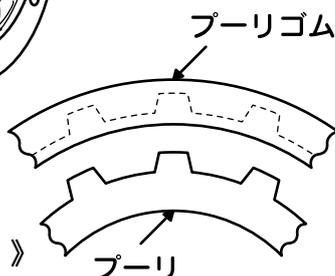
プーリゴムの交換時は、必ず電源コードを抜いてください。

不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります

前面カバーを開く時には、ノコ刃の飛び出しに注意してください。



《図9》



《図10》

1 - 1) ノコ刃の交換の ~ を参照して、ノコ刃を取り外してください。

ドライバー等でプーリ用ノコ刃受けを外してください。《図9》

プーリゴムの外周を手等で外側に引っ張ると外れます。
新品のプーリゴムを円周方向に広げ、プーリの凸凹に順次はめ込んでください。《図10》

はめ込んだらプーリを手で回し、凸凹に入りこんでいる事を確認してください。プーリゴムに油等が付着している場合は、必ず拭き取ってください。

プーリ用ノコ刃受けを取り付けてください。

ノコ刃を《図8》の順番で取り付けてください。

1 - 1) ノコ刃の交換の ~ を参照して、ノコ刃を取り付けてください。

2) 斜断修正方法



斜断修正時は、必ず電源コードを抜いてください。
不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります。

斜断した場合はノコ刃ガイドヘッドのボールベアリングの磨耗を確認してください。

背押えボールベアリングが磨耗している場合

ノコ刃押えボールベアリングを外し、調整ボルトをぬいて背押えボールベアリングを交換してください。
(F, R 共に)

ノコ刃押えボールベアリングが磨耗している場合

すべてのノコ刃押えボールベアリングを交換してください。(F, R 共に)

ボールベアリング下のUナットを外すとボールベアリングが抜けます。

ボールベアリングを交換しても斜断が直らない場合は、次の手順で修正してください。

S G P 1 0 0 A のパイプを用意します。(その他の材料でも可)

通常の状態ですべて1カットします。(上下が解るようにパイプ端面に印を付けてください。)

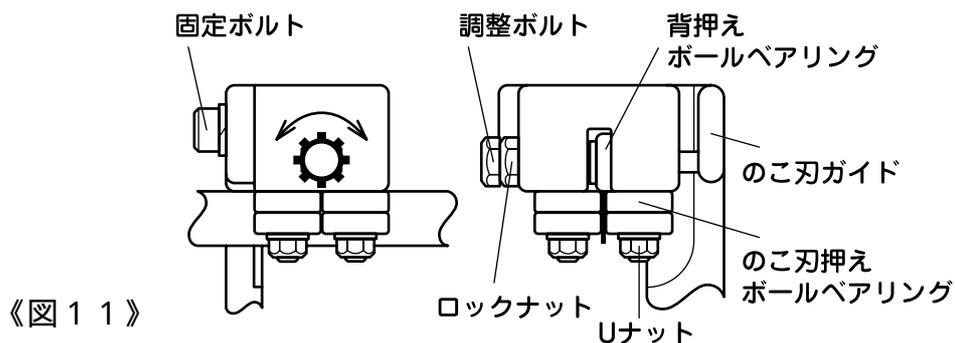
パイプを反転させてから、厚さ5mmくらいでもう1カットします。(上下左右の印を付けてください。)



切断直後の断片は高温になっています。直接手で触れないでください。
必ず、時間を置くかウエス等でお持ちください。 やけどをする恐れがあります。

その切れ端の上下左右の厚みを定規又はノギス等で測定します。 この厚みの差が斜断です。
斜断量は、この差の半分です。

1 - 1) ノコ刃の交換の ~ を参照して、ノコ刃を取り外してください。
 ノコ刃ガイドの固定ボルト2本とノコ刃ガイドヘッドのロックナットを緩めて調整ボルトを右又は左に回して、ノコ刃ガイドヘッドの角度を調整してください。
 ・ 上が厚いとき.....調整ボルトを左に回してください。
 ・ 下が厚いとき.....調整ボルトを右に回してください。
 調整ボルトを 1/4 回転回すと約 0.6mm 調整できます。(100Aの場合)《図11》
 調整は必ずノコ刃ガイドF, R共に同じ量行ってください。(調整後は必ず調整ボルトの先端がノコ刃ガイドの面に接地している事を確認してください。)



《図11》

修正の操作方法は前面カバーの内側にもあります。

ノコ刃を《図8》の順番で取り付けてください。

1 - 1) ノコ刃の交換の ~ を参照して、ノコ刃を取り付けてください。
 手順 ~ で斜断を確認してください。

3) 日常の点検と手入れ

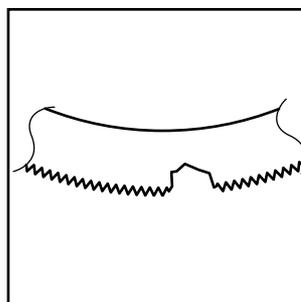
⚠ 注意



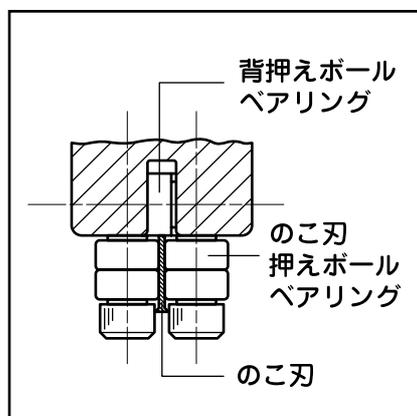
モータ部は水等で濡らさないでください。

電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。

ノコ刃の刃欠け、損傷はないか確認してください。刃欠け、損傷のある場合はノコ刃を交換してください。(ノコ刃の交換方法は、1 - 1)ノコ刃の交換を参照してください。)



背押えボールベアリング及びノコ刃押えボールベアリングの点検をしてください。正しくセットされていないと、切断精度が悪くなる原因となります。ボールベアリングが磨耗している時は新品と交換してください。(両側共すべて取り換えてください。)



各部の取り付けネジが緩んでいないか確認してください。緩んだまま使用すると危険ですので増し締めをしてください。

本機に付いているゴミや切粉を拭き取ってください。

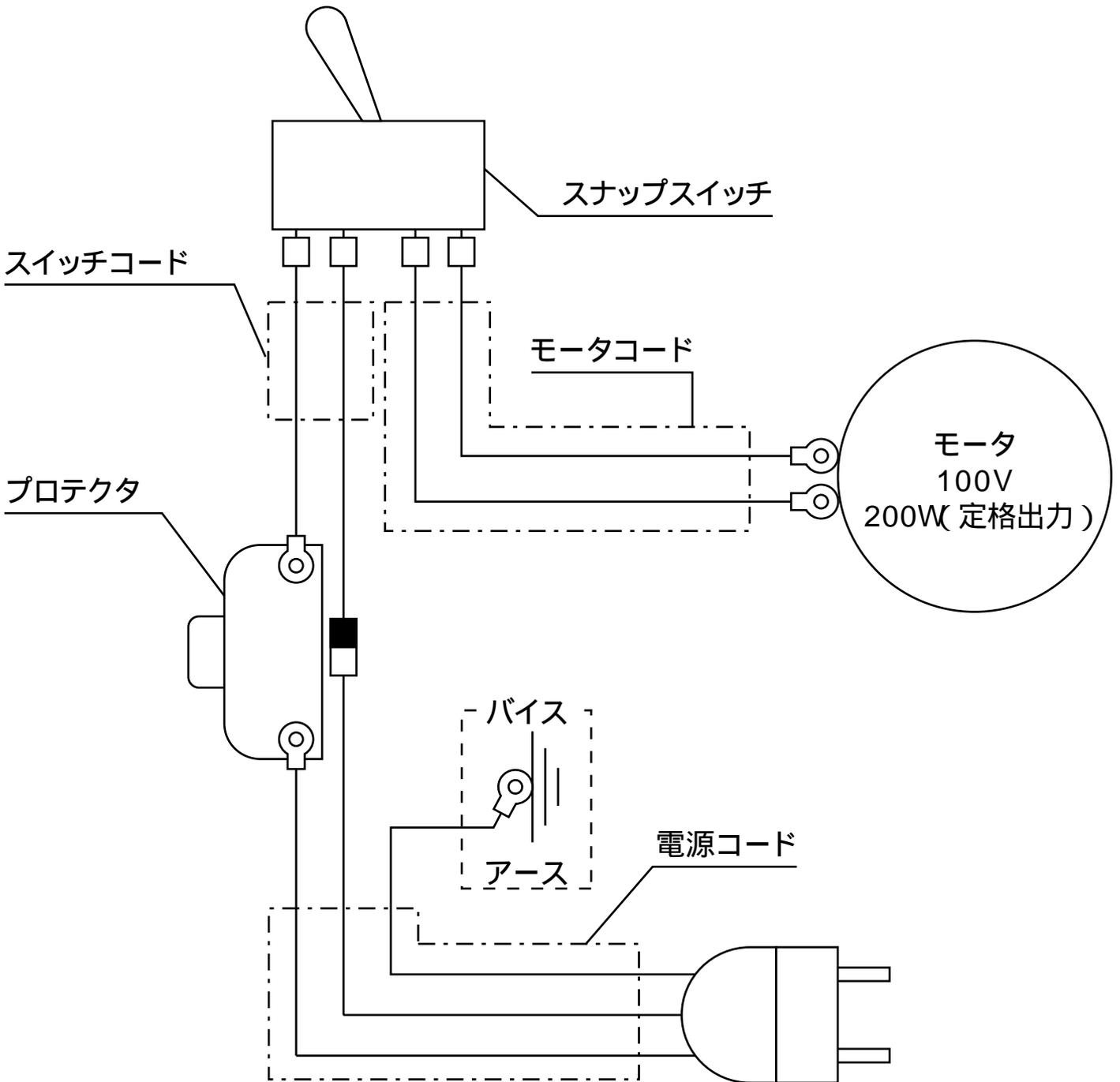
長期間使用しない場合は、錆止めをして保管してください。

5 . 修理・サービスを依頼される前に

トラブル	原因	処置
斜め切断	切断精度調整セット不良。	被切断材に合わせて切断精度調整部をセットしてください。
	ノコ刃のセットが悪い。	ノコ刃をノコ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	斜断が発生したノコ刃使用の場合。又はノコ刃の磨耗	ノコ刃を交換してください。
	ノコ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材に合った山数のノコ刃を選定してください。
	ノコ刃ガイド部、ベアリングの磨耗。	ベアリングの交換。(交換は左右同時に行ってください。)
	切断中に被切断材が動いた。	被切断材をV溝又は平面に接した状態で締め付けてください。
	被切断材の締め付け状態	長方形のものは高さ方向がなるべく低くなる様に締め付けてください。
	テンションハンドルのセット不良	テンションハンドルを締める方向へ正しくセットしてください。
	純正品以外のノコ刃使用	純正品ノコ刃を使用してください。
	ならし切断が不十分	新品のノコ刃の場合、ならし切断が必要です。
切断時間が長い	ノコ刃荷重が軽い	被切断材に合わせて切断精度調整部をセットしてください。
	ノコ刃山数、ノコ刃荷重が被切断材に合っていない。	被切断材とノコ刃及び精度選定表により、ノコ刃山数、ノコ刃荷重を選択してください。
	精度調整部、スライドロッドの変形、キズ。	スライドロッドを交換してください。
	ノコ刃の磨耗。	ノコ刃を交換してください。

トラブル	原因	処置
刃欠け	ノコ刃荷重が重い	被切断材に合わせて切断精度調整部をセットしてください。
	切断中に被切断材が動いた。	被切断材をV溝又は平面に接した状態で締め付けてください。
	ノコ刃を衝撃的に被切断材に当てた。	ゆっくり近づけ静かに置いてください。
	ノコ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材により、ノコ刃山数を選択してください。
切断中の 振動	テンションハンドルのセット不良	テンションハンドルを締める方向へ正しくセットしてください。
	前面カバーが正しく閉まっていない。	前面カバーを正しく取り付けてください。
ノコ刃はずれ	ノコ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材により、ノコ刃山数を選択してください。
	ノコ刃のセットが悪い。	ノコ刃をノコ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	ノコ刃・プーリゴム・被切断材・ノコ刃ガイド及びベアリング部に油等がついている。	油等を拭き取ってください。
	従動プーリの摺動性が悪い。	異物を除去してください。
	テンションハンドルのセット不良	テンションハンドルを締める方向へ正しくセットしてください。
	プーリゴムの磨耗	プーリゴムを交換してください。
ノコ刃の もぐり込み	切断終了時に、ノコ刃が被切断材より下がっている。	ストップボルトを調整してノコ刃の位置を上げてください。
モータが 回らない	過負荷保護装置が作動している。	スイッチをOFFにして、過負荷保護装置復帰ボタンを押す。
	電圧降下又はコードリールの長い物を使用している。	容量の大きいコードリールを使用してください。 (P. 13参照してください。)

6 . 配線図



全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6746) 7220
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6746) 7220
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	奈良営業所	(0742) (61) 6484
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	橿原営業所	(0744) (22) 2061
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	和歌山営業所	(073) (471) 4585
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	田辺営業所	(0739) (25) 1027
				沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	姫路営業所	(079) (281) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001		
水沢営業所	(0197) (22) 5101			広島支店	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡支店	(054) (281) 1555	広島営業所	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	静岡営業所	(054) (281) 1555	福山営業所	(084) (923) 0960
福島営業所	(0243) (22) 1204	沼津営業所	(055) (923) 7811	三原営業所	(0848) (64) 4850
		浜松営業所	(053) (464) 3016	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	宇部営業所	(0836) (31) 4345
新潟営業所	(025) (247) 5356			徳山営業所	(0834) (21) 5583
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢支店	(076) (249) 5701	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
山形営業所	(023) (643) 5225	金沢営業所	(076) (249) 5701	松江営業所	(0852) (21) 0538
酒田営業所	(0234) (26) 3551	七尾営業所	(0767) (52) 3533		
秋田営業所	(018) (863) 5205	富山営業所	(076) (451) 6260	高松支店	(087) (867) 6411
		高岡営業所	(0766) (21) 3177	高松営業所	(087) (867) 6411
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (25) 1911	徳島営業所	(088) (626) 0555
宇都宮営業所	(028) (634) 5295			松山営業所	(089) (951) 7666
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜支店	(058) (274) 1315	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
水戸営業所	(029) (248) 2033	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高知営業所	(088) (884) 7811
土浦営業所	(029) (821) 6086	多治見営業所	(0572) (22) 4921		
		松本営業所	(0263) (85) 4751	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	長野営業所	(026) (225) 1022	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	飯田営業所	(0265) (24) 1636	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647			久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(048) (976) 6155	名古屋支店	(052) (419) 0561	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	名古屋営業所	(052) (419) 0561	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443		
		知多営業所	(0569) (48) 8470	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	一宮営業所	(0586) (75) 5382	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0476) (73) 8101	四日市営業所	(059) (351) 0727	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411			沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		京都支店	(075) (621) 1135		
		京都営業所	(075) (621) 1135	関東物流センター	(048) (771) 3451
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	関西物流センター	(0725) (46) 6715
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)